

シンポジウム

ランドスケープアプローチによる 森林の多面的機能の発揮を通じた ネイチャーポジティブ社会への移行

3月16日（月） 13:30～16:30（13:00開場）

@木材会館 7階大ホール

オンライン併用

我が国の豊かな森林はその多面的機能の発揮を通じて、社会・経済の基盤を支えています。近年、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）を契機として森林の多面的機能が見直され、自治体、企業、NPO等との連携による森林整備が行われる取組が増えてきています。

森林が流域全体にもたらす多面的機能を持続的に発揮させるため、様々なステークホルダーとの連携による「ランドスケープアプローチ」の導入の一層の推進が重要です。

本シンポジウムでは、森林の多面的機能やランドスケープアプローチについて様々なステークホルダーに広く周知し、流域全体での適切な森林維持・管理を促進することを目的とします。

詳細案内および、お申し込みリンク

参加無料（要登録）

左記の二次元コードよりイベント詳細案内/
参加申込フォームへアクセス下さい。

申込締切：令和8年3月13日（金）

【定員】
会場参加：100名（先着）
オンライン参加：1000名
（オンライン配信は、
Microsoft Teamsの予定。）



会場案内



木材会館（東京木材問屋協同組合）
〒136-0082
東京都江東区新木場1-18-8

こちらの二次元コード
よりマップにアクセス
できます



お問合せ先

（株）NTTデータ経営研究所 社会・環境システム戦略コンサルティングユニット内
林野庁シンポジウム担当

メール：forest_multifunctional-roles@nttdata-strategy.com

主催：林野庁

開会

13:30-13:35

主催者挨拶

13:35-13:40

林野庁 長官 小坂 善太郎



基調講演

13:40-14:20

北海道大学 名誉教授 中村 太士



基調講演：「森の多様性と恵みを活かす森林管理とは？
ー ランドスケープアプローチ」

ランドスケープアプローチの事例

14:20-15:30

根羽村 村長
大久保 憲一



nebaneプロジェクト 代表
一社)ねばのもり 代表理事
杉山 泰彦



講演：矢作川流域連携の軌跡から森林価値の最大化を導き出す
～ “nebane”プロジェクトの共創と展開～

公財)日本自然保護協会 特任部長
出島 誠一



講演：市町村を基にしたネイチャーポジティブの実践
「日本版ネイチャーポジティブアプローチ」

王子ホールディングス(株) OMOグループマーケティング本部
王子の森活性化推進部 部長
齊藤 基三郎



講演：王子グループのネイチャーポジティブ経営 ～王子の森の挑戦～

持続可能な林業のための国際連合(ISFC)の取組

15:30-15:50

住友林業(株) 執行役員 コーポレート本部 副本部長
サステナビリティ推進統括
飯塚 優子



講演：持続可能な森林経営 ～林業による自然資本の価値顕在化を目指して

ランドスケープアプローチの導入を支援する取組について

15:50-16:30

林野庁 森林整備部 森林利用課 課長 増山 寿政



企業による^{もり}森林づくり、森林由来のJ-クレジット、生物多様性評価手法の検討、
国有林活用の取組